科目名	地域と文化　　Region and Culture						
科目担当者	朝日　克彦　　ASAHI Katsuhiko						
単位数	2	配当年次	1	授業形態	講義	開講学期	後期
履修学部・学科［区分］ 他学部他学科履修	法学部・法律学科［総合教育科目　人間形成］ 経営学部・経営学科［総合教育科目　人間形成］					ディプロマポリシーとの関連	(1)(4)
授業の概要	各地に存在する文化財に焦点をあてる．さまざまな文化財を題材にして地域を俯瞰し，文化財を保存しつつ上手に利活用することでまちづくりにつなげることができる．こうすると地域の「遺産」を継承することにもなる． 宮崎の史跡，無形遺産，伝建地区，天然記念物など文化財を紹介し，それらにどのような価値があるか解説する．さらに近隣や全国での文化財と活用例，世界の事例を紹介する． レポート執筆のコツやヒント，文化財の調べ方も講義中，コラム的に紹介，解説する．						
授業の到達目標	①　自身の出身地や居住地，関心のある土地にある「遺産」の存在とその価値を理解する． ②　「遺産」を実際に利活用して，遺産を途絶えさせることなく次世代へ継承する．						

授業計画・内容		
	1	ガイダンス（単位の仕組み，講義の受講方法）
	2	レポート課題の解説，文化財とは何か
	3	有形文化財
	4	無形文化財・民俗文化財
	5	天然記念物
	6	景観：文化的景観・伝統的建造物群
	7	世界文化遺産とは：その基準
	8	世界文化遺産とは：日本での誤解
	9	無形文化遺産の活用と継承
	10	地域の遺産を活用する取り組み：綾町の成功事例　綾ユネスコエコパーク
	11	世界農業遺産を観光に活かす
	12	アメリカの国立公園システム：保護か活用か
	13	まとめ
	14	学生の成果発表　1
	15	学生の成果発表　2

授業外学修 (事前学修)	次回講義内容のキーワードの意味と事例を調べておく（毎週 1 時間程度）
授業外学修 (事後学修)	講義時間内にレポート課題を 2 つ課す． ①宮崎県総合博物館を訪れて関心を持てる文化財を見つけ，それがどういうもので，どう継承されてきたか説明する：1 回目，トライアルレポート ②出身地や関心のある土地を訪問して，その地にある文化財を解説する．それらが文化財としての保存，継承からさらに，まちづくりにどう活用されているか，継承していくための課題までを要領よくまとめてレポート提出：2 回目，本レポート（45 時間程度）．

成績評価方法・評価比率・到達目標との対応	成績評価方法	評価比率	到達目標との対応
	・講義時間内のレポート ・定期試験	80% 20%	①、② ①、②

成績評価基準	秀：（評点 90 点以上）到達目標を極めて高い水準で達成している場合 優：（評点 80 点～89 点）到達目標を高い水準で達成している場合 良：（評点 70 点～79 点）到達目標を一定の水準で達成している場合 可：（評点 60 点～69 点）到達目標を最低限の水準で達成している場合 不可：（評点 60 点未満）到達目標に達していない場合
教科書	
参考文献	参考資料：web「みやざき文化財情報」，文化遺産オンライン，各県市町村史（誌）
その他	